

主日礼拝

2025年04月13日
午前10時30分

前奏

参集 (報告・紹介・予定)

招詞

「キリストも、あなたがたを神に近づけようとして、
自らは義なるかたであるのに、不義なる人々のため
に、ひとたび罪のゆえに死なれた」

ペトロの手紙一(第1ペトロ3:18a)

頌栄 26「グロリア」

グロリア グロリア グロリア ちちとみ子に
グロリア グロリア グロリア せいなる霊に

受難節のリタニー

《受難節第6主日》

司式者：私たちは群衆と同じように深く考えないで、
不正の波にのったことがあります。これからは
もっと、私たちにものを正しく見る目と、
判断力を与えてください。

会衆：主よ、私たちをあわれみ導いてください。

司式者：群衆の「ホサナ」は すぐにまた「十字架に
つける」に変わったことを思いつつ、この
ろうそくを消します。(消火)

賛美 15-3,4,6「みことばにより」

Songs of praise the angels sang
詞：James Montgomery, 1771-1854

NORTHAMPTON
曲：Charles J. King, 1859-1934

3 地のも のすべ て ほろび ゆくとも、
4 ふ た た び 主 イ エ ス き た も う 日 ま で、
6 い ま わ の と き も ほ め う た う た い、

主 は つ く ら る る - あ ら た な - て ん ち。
> 世 に あ る せ い と - ほ め う た - う た ん ね ん。
> 死 に か つ め ぐ み - わ れ ら に - た ま え。

3 地のも のすべ て ほろびゆくとも、 4 ふ た た び 主 イ エ ス き た も う 日 ま で、
主はつくらるる 新たな天地。 世にある聖徒 ほめうたうたわん。

6 いまわの時も ほめうたうたい、
死に勝つめぐみ われらにたまえ。

祈禱

献金

主の祈り

天にまします我らの父よ、
ねがわくは み名をあげさせたまえ。
み国を来らせたまえ。
みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、
我らの罪をもゆるしたまえ。
我らをこころみにあわせず、
悪より救い出したまえ。
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの
なればなり。
アーメン。

賛美 32「キリエ・エレイソン」

キ リ エ ・ エ レ イ ソ ン、 キ リ エ ・ エ レ イ ソ ン、
主 よ あ わ れ み を。 主 よ あ わ れ み を。

キ リ エ ・ エ レ - イ ソ ン。
主 よ あ わ れ - み を。

聖書 マタイによる福音書 27:32~56

新約(新共同訳)P57~P58

32 兵士たちは出て行くと、シモンという名前のキレネ人に出会ったので、イエスの十字架を無理に担がせた。33 そして、ゴルゴタという所、すなわち「されこうべの場所」に着くと、34 苦いものを混ぜたぶどう酒を飲ませようとしたが、イエスはなめただけで、飲もうとされなかった。35 彼らはイエスを十字架につけると、くじを引いてその服を分け合い、36 そこに座って見張りをしていた。37 イエスの頭の上には、「これはユダヤ人の王イエスである」と書いた罪状書きを掲げた。38 折から、イエスと一緒に二人の強盗が、一人は右にもう一人は左に、十字架につけられていた。39 そこを通りかかった人々は、頭を振りながらイエスをののしって、40 言った。「神殿を打ち倒し、三日で建てる者、神の子なら、自分を救ってみろ。そして十字架から降りて来い。」41 同じように、祭司長たちも律法学者たちや長老たちと一緒に、イエスを侮辱して言った。42 「他人は救ったのに、自分は救えない。イスラエルの王だ。今すぐ十字架から降りるがいい。そうすれば、信じてやろう。43 神に頼っているが、神の御心ならば、今すぐ救ってもらえ。『わたしは神の子だ』と言っていたのだから。」44 一緒に十字架につけられた強盗たちも、同じようにイエスをののしった。

45 さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。46 三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。47 そこに居合わせた人々のうちには、これを聞いて、「この人はエリヤを呼んでいる」と言う者もいた。48 そのうちの一人が、すぐに走り寄り、海綿を取って酸いぶどう酒を含ませ、葦の棒に付けて、イエスに飲ませようとした。49 ほかの人々は、「待て、エリヤが彼を救いに来るかどうか、見ていよう」と言った。50 しかし、イエスは再び大声で叫び、息を引き取られた。51 そのとき、神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け、地震が起こり、岩が裂け、52 墓が開いて、眠りについていた多くの聖なる者たちの体が生き返った。53 そして、イエスの復活の後、墓から出て来て、聖なる都に入り、多くの人々に現れた。54 百人隊長や一緒にイエスの見張りをしていた人たちは、地震やいろいろの出来事を見て、非常に恐れ、「本当に、この人は神の子だった」と言った。55 またそこでは、大勢の婦人たちが遠くから見守っていた。この婦人たちは、ガリラヤからイエスに従って来て世話をしていた人々である。56 その中には、マグダラのマリア、ヤコブとヨセフの母マリア、ゼバダイの子らの母がいた。

賛美 309 「あがないの主に」

Gloria, laus, et honor
讃：Theodulph d'Orleans, 750?—821? VALET WILL ICH DIR GEBEN
曲：Melchior Teschner, 1584—1635

1-4 あがないの主にみさかえあれ、
おさなき子らも「ホサナ」歌わん。

1 ダビデのすえなるまことの主に、
2 しゅろの葉かざして いざ、むかえよ。▶
3 じゅうじかのみちをすすみし主を、
4 われらのいのりをうけいれたもう、▶

主のみ名によりてきたるものに。
▶ てんしらとともに、ほめたたえよ。
▶ こえあわせともにたたえうたわん。
▶ めぐみにみちたる主はおうなり。

- | | |
|---|--|
| 1 あがないの主にみさかえあれ、
幼き子らも「ホサナ」歌わん。
ダビデのすえなるまことの主に、
主のみ名によりてきたるものに。 | 3 あがないの主にみさかえあれ、
幼き子らも「ホサナ」歌わん。
十字架の道をすすみし主を
声合わせ共にたたえうたわん。 |
| 2 あがないの主にみさかえあれ、
幼き子らも「ホサナ」歌わん。
しゅろの葉かざして いざ、迎えよ。
天使らと共に、ほめたたえよ。 | 4 あがないの主にみさかえあれ、
幼き子らも「ホサナ」歌わん。
われらの祈りを受けいれたもう、
恵みに満ちたる主は王なり。 |

説教 「自分を救えない真の神の子」

賛美 315 「茨の冠かぶせられ」

詞：橋井綾子, 1932— IBARA
曲：山元富雄, 1941—

1 いばらの冠かぶせられ、
2 十字架の上で「エリ、エリ」と、
3 「おゆるしてください 天の父」。

じゅ うじか—せ お—つ—て ある—か—れ—る
▶ か—み—さ—ま—み—あ—げ—て—と—さ—げ—ば—れ—る—る
い の—つ—み—び—と—ゆ—る—さ—れ—る

イエ ス さ—ま—ま— ア—メン。
▶ イエ ス さ—ま—ま—

- | | |
|---|--|
| 1 茨の冠 かぶせられ、
十字架背負って 歩かれる
イエスさま。 | 2 十字架の上で 「エリ、エリ」と、
神さま見上げて 叫ばれる
イエスさま。 |
| 3 「おゆるしてください 天の父」。
祈って罪人 ゆるされる
イエスさま。 | |

派遣

司式者 主は言われます。
「わたしは誰を遣わすべきか。」
会衆 わたしがここにおります。
わたしを遣わして下さい。

祝祷

アーメン

ア—メン。 ア—メン。ア—メン。

後奏

司式 喜多村 文子
説教 向井 希夫牧師
奏楽 高橋 孝子

※お立ちになるのが困難な方は、
座ったままで礼拝をお守り下さい。